

感染症発生状況

平成30年5月10日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年4月30日（月）～5月4日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 144名

1日あたりの延べ欠席者数 72名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 136名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（65名）**、咳・鼻水（18名）、下痢・腹痛（13名）、吐気・嘔吐（3名）

疾病ごと **インフルエンザ（8名）**、おたふくかぜ（5名）、胃腸炎（その他4名）、気管支炎・肺炎（RSウイルス2名、ヒトメタニューモウイルス1名、その他1名）

インフルエンザ、RSウイルス感染症、おたふくかぜが見受けられます。沖縄で麻しんが流行し、全国に広がりそうな気配です。

もう一度お子様の母子手帳を手にし、予防接種欄を再点検してください。来年4月の小学1年入学者は早めに2回目の麻しん風しん混合ワクチン接種を受けましょう。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 玉山，盛南，都南地域で減少。河南地域で増加しました。

おたふくかぜ 都南地域で減少。河北地域で増加しました。

胃腸炎 厨川，盛南，河南地域で減少。玉山，河北地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 厨川，河北地域で減少。河南地域で増加しました。

【県の状況（4/23～4/29）】

インフルエンザは、県全体で減少しましたが、釜石及び宮古地区で2週続けて注意報値（定点当たり患者数10人）を超えています。この週の年齢層別では10～19歳及び60歳以上に多くなっています。予防には手洗いの徹底と咳エチケットが重要です。

感染性胃腸炎は、県央及び宮古地区で多くなっています。石けんと流水による十分な手洗いと、患者の吐物や便の塩素系薬剤での適切な処理が重要です。

溶連菌咽頭炎は、二戸地区で警報値（同8人）を超えているほか、盛岡市、県央、中部及び奥州地区で多くなっています。例年初夏にかけて報告数が増加するので注意が必要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤル）ファックス 652-3424】